

# デイヴィド・ウィルコック：陰謀団とイルミナティに立ち向かう「連盟」

Greatchain

2019/02/23

David Wilcock に対する Jimmy Johnson のインタビュー・シリーズの一つに、David Wilcock—The Alliance Against the Cabal and the Illuminatit というのがあり、その一部を取り出して訳してみた。ウィルコックは、私との年齢の大差にもかかわらず、私の教師というべき、大きな影響を受けた存在であり、従ってここに言われていること、つまり知識やニュースの内容を別にして、彼の哲学は、私にとって新しいものではない。ただ、彼がこのように熱に浮かされたようにしゃべるのは聞いたことがない。英語字幕を書き取った上で、それを訳すのは大変な仕事であり、間違いがないと言うつもりはない。まずそれを言った上で、ここに論じられていることは、おそらくほとんどの人が予想も判断もできず、今、最も気にしていることだと思われる。

---

何か大変なことが起こりつつあるのではないか、というジミーの質問に対して：――

全くその通りだ。そこで、ある誰も知らない新しい情報で、それを言えば面倒なことになるかもしれない、あることを、あえて明かそうと思う。我々は、4つの全く異なった、確かな地位のあるインサイダーから得た情報をもっている。これは私の情報源の1つだが、そこだけでも、4つの完全に独立した、高レベルのソースだ――我々の大統領は、来月、自分の意志で辞任をされると言われている。ところで、それを強制できる誰かがいるのかどうか、私は知らない。それは本当でないかもしれない。フェイクかもしれない。しかしこの情報は、4つの完全に別々の、独立した人々によるものであり、トランプ大統領に対するある種の、非常に強烈な攻撃が準備されていて、彼らは、それは決定されたものだと考えている。だからトランプは、そうするように強要されたのだと彼らは考えている。

こうしたことはすべて、北朝鮮について、テーブルを叩きながら起こっていることだ。これは覚えておかねばならないことだが、北朝鮮は1つの国家ではない。北朝鮮は陰謀団のための代理軍隊であり、彼らは陰謀団が求めることをやっている。陰謀団は、我々が恐れおののくようなことを求めている、私は、北朝鮮はどんなことでも自分で行うようには、許され

てはいないと考えている。彼らは封じこめられていて、すべてが煙と鏡になっており、それは現実ではない。しかしそこには多くの非常に緊張した人々がいる。

本当に今起こっていると思われることは、我々が徐々に、ある通知へとストーリーをもっていき、下院と上院の人々の大多数に、この北米流の大人と少年の愛の関係を認めさせ、彼らもこの種のことのメンバーだと思わせることではないだろうか？ 万が一それが起これば、しばらくの間は、あらゆる人々を狂気に陥れるだろう。大変な狂乱状態になる。

ところで私は、昨年6月に、ある非常に強烈な夢を見た。そこでは、私の部屋である宇宙船の劇が起こり、それが私の部屋に着陸したが、それはノート型パソコンであり、私はそれを開けた。するとアレックス・ジョーンズがそこにいて、彼は私に話し始めた。彼と私がこれまで一生涯やってきたことは、いよいよ実現しようとしている、それは我々の途方もない想像力を超えて、報われつつあると彼は言った。それは非常に強力な夢だった。それが実現するために、我々はディスクロージャーについて話している。それで私はその予言的な夢を見たのだが、私はまだその予言を、ちゃんとした記事として書いたことはない。

その夢を見た後、コーリー [グッド] が、善意のETたちと、それに自分をコーリーと名乗る特殊な女性から、ある接触を受けた。そして彼女は、次の月食のとき、彼らはいよいよ用意が完了すると言った。だから来週の月曜日にそれが始まるかもしれない。しかし彼らは人々との接触を、最初は遠隔通信によって、または夢によって始め、徐々に現実の対人的コンタクトに入っていくだろうと言った。それは、彼らがコーリーとやっていたやり方で、私がいつも言っていたように、もし彼らがコーリーとそのように出会うなら、なぜ私と出会うことができないのか？ きっと大勢の人々が同じことを考えていると思う。

彼らがそれを始める用意ができていることは明らかだ。それはおそらく、何か非常に思いがけない、世界を変えるような報告があった余波として、やってくると思われる。私が大きな全体像を見ても、世界の緊張状態を見ても、メディアと現行政権の信じられない闘争を見ても、そのように思える。それは、ある「連盟」が、メディアに潜む陰謀団と戦っていることの証拠だ。すなわち、CIAに支配されたモッキングバード・メディアだ。それを見ていれば、なぜ、彼らが私を撃退しようとしているのか、なぜ彼らがコーリーの子供を誘拐しようとしたのか、なぜ彼らが我々を二人とも、完全に破滅させようとしているのか、なぜ、すべての平和の問題をなくそうとしたのか、なぜ我々が脅迫されているのかがわかる。その理由は何か？ 彼らが昨年12月に、南極問題に取り組み始めたのは、牢獄から出て自由になるために切ったカードであって、彼らは、アトランティスというすばらしい問題によって、我々の注意をそらそうとしているのだ。彼らはそれをやる準備をしている。何か今、起ころうとしていることがある。それはメタ事件、多層事件というべきもので、ペドグイト告訴のディス

クロージャー（開示）が、おそらく南極について学んでいる ET たちに、知られるようなことかもしれない。

私は、我々が最終的にこの種のことが起こる瀬戸際にいると思う。そしてすべての者が、列をなして、何とか身をかわそうとしている。彼らは一列に並んで、彼らが鞭を打ちやすい姿勢を取っている。そして自分の思い通りの結果になることを願っている。そして明らかにそれが動機になって、これら善意の ET たちは、我々がこのポジティブなコースからそれることが、絶対にないようにしてくれる。なぜなら、カーリもまた、我々が最後に行き着くネガティブなタイムラインが、ありうると言ったからである。我々は狂気じみた者になりつつある。しかし我々は、文字通り、悪なるレプティリアン地球外人によって支配される惑星になってしまった。そして残っている者はほんのわずかで、我々はすべて、こうした者たちの奴隷になっている。それで我々はネガティブなタイムラインを望まず、我々のすべては、「英雄の旅」を続けている英雄である。今、我々のすべてが、ダース・ベイダーに立ち向かうルーク・スカイウォーカーである。すべての人がそれを受け入れかねている。しかしダース・ベイダーは我々の父親だった。なぜなら、これらの人々は、我々の仰ぎ見た人たちだった。我々は彼らを信頼した。我々は投票所で彼らに投票した。我々は彼らを支持して運動し、彼らにカネを送り、彼らをどれほど愛するかについて本を書き、それをインターネットに公表した。

今、我々は、彼らがこんなことをやっていたのだと知りつつある。それは世界的な目覚めである。それは極めて醜悪なものだ。我々は、今知ろうとしていることを知りたくない。しかし、その結果として起こることを、我々はよかったと理解するだろう。もし、彼らがこれほどまでにウソをつけたのなら、彼らが、これほどの内容のウソをつけたのなら、他にどんなウソがつけたのだろうか？ そして、まさにそこに、ディスクロージャーが登場する。あなたは心をあけ広げて、言わなければならない：——もし我々が文字通り、ほとんど全体主義的な、グローバルな独裁制の下にある惑星だとして、にもかかわらず、彼らは我々に対してウソをつかねばならず、我々が自由であるかのように見せかけねばならないとしたら、いよいよ真理が破れて現れたとき、何が起こるだろうか？ 生まれて以来、そこで知ってきたことのすべてが、ウソに次ぐウソに次ぐウソであった世界から、人々が目覚めたとき、何が起こるだろうか？ あなたが地球を真理へと目覚めさせたとき、それは強烈な一発をほっぺたに食らわすようなものである。

そこで人がやりたくなる最初のことは、その真理をあなたに語っていた人々を攻撃することであろう。なぜなら、彼らを悪魔化して、この者たちはサタンだとか、ペドファイルだとか、または彼らは超金持ちエリートだとか言うほうが、はるかに楽で、気持ちいいからである。それから現実には、人はその真理を見ることになるが、そのときそのものは、デイヴィド

やコーリー・グッドはカネを儲けているぞ、あいつらは共通の敵だ、などと言っていたことが本当かどうかよりも、遥かに戦慄すべきものになっている。

トランプはなぜ辞職するのだろうか、というジミーの質問に対して：――

私は目隠しをされ、さるぐつわを噛まされている。ごくわずかの情報しか知らない。また秘密を洩らしたくない。……ただ、彼らはトランプに向って、毎日、毎週、何かを投げつけている。私は彼が天使だとは思わないが、信頼しているあらゆる人々から、彼の政権は「連盟」によって運営されていて、陰謀団によってではないことを知っている。「連盟」のすべてが天使だというわけではない。彼らは右翼であり、彼らのバイブルの宣伝者だ。そして彼らは、軍隊にトランスセクシュアルを望まない連中だ。我々は必ずしも彼らの意見を好きにはなれない。しかしこれらの人々が現実に行っている。彼らこそ現実にはサタンのペドファイルと戦っている人々だ。彼らは男の中の男のような性格を持っていて、明らかに残りの我々ができなかったようなことをやっている。……

私は何か巨大な、これまでのものを変えてしまうようなことが起こって、勝ったのはヒラリーでなくて彼だったことを、我々みんなが喜ぶことができればいいと思う。それはいつでも起こる可能性がある。そういうことが起こってほしい。こういったすべてが、何か大きな、目を見張るようなことに導き、それが文字通り我々すべてを殺して、数億かそれ以下の者だけを残そうとする者たちから、解放されたいと思う。私は、人々が私の車に細工をして私を殺そうとするからといって、びくびくして生きてはいない。あるいは私の友人の持ち物をすべて取り上げるからといって、またコーリーの子供を誘拐するからといって、怯えたりしない。私の答えは、奴らはこのザマだ、自暴自棄になっているということだ。実際、彼らは、もしこの年の残りが退屈な時間で終わるとしたら、こんなに自暴自棄にはならないだろう。彼らがそうなるのは、我々の知らない何ものかが起ころうとしていて、彼らはそれを知っているからだ。彼らはその準備を試みる以外に、どうすることもできないでいる。……

もし我々が負けるとしたら、こんなことは起こっていないだろう。要するに、我々が負けるとしたら、これらすべてのネガティブな注目を、我々が浴びることはないということだ。